

Japan Audio Society  
**JAS**  
journal

(通巻 442 号)

2016 Vol.56 No.5 (9月号)

発行人：校條 亮治

一般社団法人 日本オーディオ協会

〒108-0074 東京都港区高輪 3-4-13

電話：03-3448-1206 FAX：03-3448-1207

Internet URL

<http://www.jas-audio.or.jp>

C O N T E N T S

JAS・音のサロン&カンファレンス	校條 亮治	P3
音との付き合い70年～(その1) NHKに入るまで	中島 平太郎	P5
最新ヤマハAV レシーバーと Dolby Atmos®の融合	青木 良太郎	P17
【連載：NH ラボセミナー第5回】 スピーカを吊るす・スピーカの定温化	高田 寛太郎・瓜生 勝	P22
【連載：一録音エンジニアの回顧録～アナログからデジタルへ～第10回】 読者の質問と要望に応えて	穴澤 健明	P34
DENON MC カートリッジ DL-103 ロングラン 52年の秘密に迫る	照井 和彦 JAS 事務局長	P56

9月号をお届けするにあたって

残暑が長引き天気の悪い日も続いて、すっきりとした秋晴れがほんとうに待ち遠しい今日この頃です。

本号ではまず10月に予定されている「音のサロン&カンファレンス」について校條会長からご案内をさせていただきます。従来の音展を2017年から一新するにあたり、この秋のイベントとして開催するものです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

デジタルオーディオ、CDの父として知られ、JAS会長も務められた中島平太郎氏によるご自身の回顧録「音との付き合い70年」を本号から掲載いたします。オーディオのレジェンド特別編とも位置付けられる連載を是非お読みください。

最近話題になってきているオブジェクト指向の音場再生に対応したヤマハの最新AVレシーバーを青木氏に解説いただきました。連載「NHラボセミナー」は第5回、「スピーカを吊るす」、「スピーカの定温化」の2テーマについて高田氏、瓜生氏に寄稿いただきました。連載「一録音エンジニアの回顧録」は最終回を迎えました。読者からの質問や要望に答えるという形で穴澤氏に自論をまとめていただきました。

読者の中にも愛用者がおられると思いますが、DENONのMCカートリッジDL103の工場見学の機会があり、参加した事務局の照井氏にレポートしていただきました。

☆☆☆ 編集委員 ☆☆☆

(委員長) 君塚 雅憲 (東京藝術大学)

(委員) 穴澤 健明・稲生 眞 ((株) 永田音響設計)・遠藤 真 (NTT エレクトロニクス (株))

大久保 洋幸 ((一財) NHK エンジニアリングシステム)・高松 重治・春井 正徳 (パナソニック (株))・森 芳久  
八重口 能孝 (パイオニア・オンキヨー (株))・山内 慎一 ((株) ディーアンドエムホールディングス)・山崎 芳男 (早稲田大学)